

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 R8年 1月27日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	男里川水系環境保全活動実行委員会（担当者名：成子和弘）
担当課名	河川農水課（担当者名：若野篤徳）
事業名	男里川水系環境保全活動
事業開始からの実施期間	令和7年（西暦 2025年）4月1日～令和8年（2026年）3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ）
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上（12年目）

1. 事業の概要

（1）事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

男里川は、昔から農業用水、工業用水、生活用水として貴重な役割を果たしてきた。また多くの水生生物が生息している。この男里川水系を阪南市の宝として地域の方々がその素晴らしさを実感し、また環境保全活動の重要性を理解し、その環境を孫子の代まで受け継いでもらうことを目的としている

（2）役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	男里川水系全域の年1回の一斉清掃 男里川環境保全啓発ポスター募集、そのカレンダー作成と配布 水辺の学校（小学4年生）の男里川での体験学習 親子水生生物観察会（夏休みに実施）
事業担当課	清掃活動への協力要請、ゴミの処分 その他活動に関わる応援

（3）事業費

団体	30,000 円 費目を記入				
市	0 円 費目を記入（（例）補助金 円、委託費 円 等）				
合計	30,000 円				
初年度の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
前年度の事業費計	30,000 円	団体分担	30,000 円	市分担	0 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- | | |
|---------|----------------------------------|
| ① 名称 | : 男里川水系一斉清掃 |
| ② 開催日時 | : 2月21日(土) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : 男里川水系全域 |
| ④ 対象者 | : 阪南市、泉南市の市民、行政の皆さん |
| ⑤ 参加人数 | : 約80名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の清掃活動 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 |
| ② 開催日時 | : 夏休み |
| ③ 開催場所 | : 阪南市内 |
| ④ 対象者 | : 阪南市内の小・中・高校生 |
| ⑤ 参加人数 | : 約200名 |
| ⑥ 事業内容 | : 環境啓発を目的としたポスター製作、そのカレンダー印刷配布 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 男里川水系、水辺の学校 |
| ② 開催日時 | : 9月19日(金) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : うど橋周辺 |
| ④ 対象者 | : 小学4年生(尾崎小学校) |
| ⑤ 参加人数 | : 約40名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の水生生物の捕獲体験、観察。川の防災、汚染防止学習 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 夏休み親子水生生物観察会 |
| ② 開催日時 | : 6月21日(土) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : うど橋付近 |
| ④ 対象者 | : 阪南市市民 |
| ⑤ 参加人数 | : 約50名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の水生生物捕獲、捕獲した生物観察会、講師先生の生物解説 |
| ⑦ 収益 | : なし |

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
 ※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

- ①男里川水系一斉清掃活動：日頃から環境美化に熱心に取り組んでいる方々、また自治会活動として参加。ひとりではなかなか掃除できないが、一斉にみんなと一緒にやることで成果が上がっている。市長や議員さん役所の方々にも応援いただきとても心強い。
- ②男里川環境啓発ポスター：強制ではないのに、各学校より毎年多くのポスターが寄せられる。環境美化に関心のある子ども達が多いのでとてもうれしい。そのポスターを掲載したカレンダーは学校の先生やご父兄の方々にも大変好評いただいている。
- ③水辺の学校：日頃、男里川で遊ぶ子は皆無に等しい。この活動を通じ、子ども達は身近に素晴らしい自然や生物がいることを実感している。学校の校長先生また担任の先生方にも喜んでいただいている。
- ④夏休み親子水生観察会：地元の人でも、男里川で遊んだり魚釣りをする人はいない。この活動を通じ、川に住む生物についていろいろ知っていただき、男里川にとっても愛着を感じていただいている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	3	4	3.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4

事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	3	4	3.5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	4	5	4.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	5	4.5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	4	4
	12	予算は妥当でしたか。	3	4	3
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	4	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川の掃除：ゴミの収集をその日のうちにやってもらえる。 ・啓発ポスター：教育委員会から市内すべての学校に要請してもらえる。 ・水辺の学校：学校行事として取り組んでもらえる。防災教育をってもらえる
行政にとって	活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。
市民にとって	活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	長年続いている事業なので、どれもうまくいっている。特にゴミの収集処理は民間だけでは難しいが協業なのでスムーズに行なえる。
行政 にとって	本市の財政状況の低迷と人員の減少により、活動への支援が十分ではない。
市民 にとって	本市の財政状況の低迷と人員の減少により、活動への支援が十分ではない。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (□提案事業継続 ■提案事業以外)

□終了する

□市が単独で実施する

□団体が単独で実施する

□その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

<ul style="list-style-type: none"> • 男里川清掃活動：参加者を増やすためにどうすればいいか、役員で考える。 広報紙や回覧板でのPRだけでなく、個人的なつながりや、他の市民活動とのつながりなどを通じ参加者を増やす。 • 啓発ポスター：より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える。 Instagramに投稿したが、それをみんなに見てもらう方法を考える。 ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので別の方法を考える。 • 水辺の学校：尾崎小学校の4年生を対象とし、小学生に環境の大切さを伝える。 • 親子観察会：親子の参加を増やし、及び熱中症対策のため、夏休みの前の6月に実施。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

--

(6) その他

--